

日 時 平成28年2月26日(金) 9:00~11:00
 会 場 藤枝市役所 5F 大会議室
 出席者 委員12名(定員15名 3名欠席)
 事務局4名



議事・報告事項

(1) 平成28年度推進施策について

委員	新たに少子化対策事業が入ってくるということですが、ちなみに他市や県ではどこの部署が事業を担当しているのか？
事務局	他市の状況については調べていない。 補足ですが当市の少子化対策事業の全体的な統括は企画経営課が行い、最初の部分「出会いとか結婚っていいですね」という意識を醸成するところが男女共同参画課。子どもを出産するという部分は健康推進課。生まれた後の子育ての部分は児童課。ということで、三課が順番につながっていくような形、それを統括するのが企画という形での分担である。ですから、男女共同参画課が少子化対策事業を全部やるわけではない、という考え方で進める。
委員	市の社協でも婚活事業を行っているが、そちらとの連携というのはどうなるのか？
事務局	市の事業に関しては健康福祉部門と連携します。社協にも情報を投げ、やりとりをさせていただく。



(2) 平成27年度事業報告及び平成28年度事業計画について

委員	P6の啓発情報誌事業については、参画委員のメンバーにRUNらんらんの編集委員がいますので、是非編集現場の様子など、お話を伺えたらと思う。よろしくお願いします。
委員	編集委員の皆さんは一般公募で選出されたやる気のある方たちで、年代も30代、40代、50代、60代、女性4人、男性1人の構成であるが、男性が女性の話をとてもよく聞いて下さり雰囲気もとてもいい。10回くらい編集会議がある中で、毎回参加するのが楽しみでした。ただ、会議は平日の昼間の開催だったため、自分はずっと仕事は有給をもらい休まなければならなかった。会場も市役所が多く、違う場所でも開催が可能かどうかを来年は提案したい。
事務局	「よおーいどん」から始まり途中で「RUNらんらん」に変わりましたが、新たに5人の編集委員には当初、型にはまることなく皆さんの感性で自由にやっていただきたい、というふうをお願いした。本当に充実している編集会議だったな、という感じを受けた。
委員	他市の広報誌は、編集委員は参考に見ているか？
委員	焼津市の「しおかぜ」や県のネットワークだよりを参考にさせてもらった。
委員	磐田市もいい広報誌を出していて参考になる。事務局にお願いがある。事務局に送付された他市の広報誌は編集委員に参考に見せてあげてほしい。
事務局	いいところはすべて参考にしよう、編集委員に他市の広報紙を提供している。
委員	合計特殊出生率とは何なのか？
事務局	15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が一生に産む子どもの数の平均値。人口を維持するには2.07以上が必要とされるが、2014年は国平均1.42、県平均1.53、藤枝は1.44。
委員	藤枝市の人口が増えているから、単純に子どもの数は増えているのかと思ったが。
事務局	藤枝市で産んでいる数は少ないが、よその市で産んで藤枝市に転入してくる子育て世帯の人口は多い。これは藤枝市のイメージが良いということ。ただし、藤枝市で結婚し、出産して、ということが出来ていないためそこが課題である。その一部の入り口部分を男女共同参画課で取り組もう、それを関係各課にバトンタッチして施策としてつなげよう、というのが来年度からの取組みの考え方である。

(2) 平成27年度事業報告及び平成28年度事業計画について

委員	<p>商工会議所で昨年、初めて婚活パーティを企画し行った。焼津市商工会議所が長くやっていると聞いていたが、藤枝も、結婚し子どもを産んでもらおうという考えがあり、企画してみたところ希望者多数で、予定していた定員の倍の申し込みがあった。ただ、私たちも初めてだしそんなに大勢は自信がないということで、定員を超えた人をお断りした。内容もいろいろ考え、本人たちが打ち解けるまで、ゲームをしてなごんでからお話をしてもらったり、お酒はやめてお茶とケーキにした。いろいろ個人情報が出たり、あとあと付きまといられるようなことがあったら、それはそれで困るな、とかその辺はお互いが合意をして資料を持ってお話してもらおうとか、なかなか老婆心も混じって大変だった。</p> <p>婚活イベントを民間事業に委託する、とあったがこういうことは多いのか？同じ時期に市のほうでもバーベキューをしながら婚活パーティという企画があった。あまり重なると、両方に行きたかったのに、という声もあるかな、と。次回もまたやってみましょう、と企画を立てているが、市と時期が重なるのもつまらない。藤枝ならではの、というのはどんな内容なのか？聞いて帰って報告したい。</p>
事務局	<p>藤枝は、お茶の産地であるので、茶畑でなにかイベントを企画するとか、聞き茶コンテストをクイズ形式でやるとか、アイデアはいろいろあると思うが、今後、企画経営課と「藤枝ならではの」という部分を詰めながら検討していく。現時点でははっきり、これをやる、と決まった案はない。</p>
委員	<p>婚活パーティに参加する若者はみなさんまじめで、本気なんだな、ということを感じた。</p>
委員	<p>総合計画審議会の中で、相当議論してきたが、男女共同参画の視点で少子化対策として出会いの場を作るというのは私はちょっと違うと思う。未婚率が多いからと言っても、男女の結婚したいという考えは違う。しかし、少子化は止めなくてはならないということはわかっている。最終的にこの件については企画経営課が参画するという事になったので。</p>
委員	<p>私も結婚して子作りっていうのはデリカシーにかけると思う。あまりそこは強調するのは聞き苦しいなと思った。男女共同参画ということ考えると、説明でちらっと聞こえたが、婚活イベントの対象が仕事をしている男女とのことだが、そこはなかなか面白いと思った。商工会議所の婚活イベント対象者は、男性は市内で働いている方、女性はそれに限らず、とした。</p>
事務局	<p>男女共同参画という視点で考えるといかがなものか、という意見も当然出ようかと思うが、そうではなくて、市の部局を超えた中でこの人口増について取り組んでいこうということである。</p>
委員	<p>パパママ講座の実績で参加人数が掲載されているが、この数字が多いのか少ないのかわからない。今までがどんな数値なのかな？と思った。経年比較して参加率がどのくらいなのか？その数値がP1の子育てを両親が共同で行う割合と関係してくるのかな？と思った。この29年度までの目標値が80%とあるが、これがかかなり高すぎる目標値ではないか？これらの事業はこの目標値に進んでいるのか？事業をやって手ごたえがわかればそこら辺を伺いたい。</p>
委員	<p>最近の新聞に父親の子育ての参加率が掲載されていて、68%くらい。80%も数値では高く見えるが実は近づいているのかもしれないと感じた。</p>
委員	<p>婚活イベントの日程がかぶるのがいいか、かぶらないほうがいいのか、是非情報交換をしてほしい。民間に投げたら終わりではなく、いろんな形で市民の意見が吸い上がる形で取り組んでもらいたい。</p>
事務局	<p>現在、市政モニター制度がないためこの数値は上がっているのではないかと推測されるが、平成25年度以降の数値を持ち合わせていない。またP11のパパママ講座の参加人数については、料理教室はほぼ毎回定員満杯、パパと〇〇で遊ぼうは開催会場や講座内容を変えたりするため、人数の比較が難しい。</p>
委員	<p>こういう講座の募集がかかるのが小学校3年生くらいまでであるが、男女共同参画課では子育ての年齢はいくつまでと考えているか？</p>
事務局	<p>男女共同参画課のほうで担当するのは小学校低学年くらいまで。それから大きくなっていくと児童課等にバトンタッチしていく。すべての子どもさんにやってあげたいが、たぶんそこまではできない。中学生でスポーツなんかをやっているればスポーツ振興課がスポーツに関わる中で親子で一緒にやっていくとか。スポーツフェスタなどがある。</p>
委員	<p>スポーツフェスタでは、親子で出かけていかない。</p>
事務局	<p>小学校高学年や、中学生になると塾や部活動があり、講座を開いても参加率が悪くなる。よって、講座に関しては小学校低学年までを対象としている。</p> <p>子育てに関心を持つというのはいきなり子どもが中学生になったら関心をもつというのは難しく、小さいときから関わっているからこそそれがつながってくる。ですから市のほうでは早い段階でかわかってもらえる機会を作っている。</p>

(2) 平成27年度事業報告及び平成28年度事業計画について

委員	マイジョブ講座の講師を父親にしたらどうか？前、息子が通っていた高校がそれをやっていた。誰の父親かは伏せて、父親の職業を授業で紹介してもらい、学校に父親が足を運んでもらう。学校行事に入れ込まないと子どもはとても忙しいので。
委員	教育委員会もこういったものに力を入れてイベントもあり、家庭で親子で話し合う機会をもつということでもいろいろやっている。こども未来応援会議では藤枝ならではの考えをベースにしている。現在は親子で「藤枝マナー」を通して話し合う機会を持つということを何年か続けてやっている。まさに子育ては学校だけではできない、日々の家庭の中での話し合いを増やしていく、そんな活動もしている。
委員	女性人材リストは一概には言えないと思うが、職業や資格を一つの例としてどんなものがあるのか教えてほしい。また、候補者をどのように集めているのか教えてほしい。
事務局	男女共同参画地区推進員が2年任期で男女共同参画について学んでいるのでその方たちに登録をお願いしている。それ以外にも男女共同参画を学んだ方が基本であるが、関わっていただいた方が元先生とか、幼稚園の先生、カウンセラーなど資格をいろいろ持っている。その方たちに登録をお願いし、持っている資格に印をもらう。市の職員のOB。項目は20項目ほどある。(男女共同参画、人権、子育て・家族、消費生活、医療保険、福祉、高齢者介護・・・)
委員	男女共同参画の市民への浸透や理解度についての表れとして、生涯学習で市民への出前講座の開設がされているが市民からの問い合わせや年間何回出前講座を行っているか教えてほしい。
事務局	男女共同参画地区推進委員が、地区で講演をしてほしい、という流れからの町内や民生委員さんの前での講座は何回かさせていただいたが、生涯学習の出前講座という形での講座は行わなかった。ただし、要望があれば講座はさせていただく。
委員	女性のための相談事業が昨年に比べ減少していることも。男女共同参画の広報活動と市民への浸透を、いろんな角度から推進して頂ければと思う。
委員	多文化共生事業について、生活ガイドブックの活用ということで、今回改訂をする、とある。4ヶ国語はH23、スペイン語はH25に作成とあるが、ペルーやコロンビアなどスペイン語圏の方が多いですよ、と委員会から希望して追加で作成いただいた。その時、4ヶ国語のところスペイン語を押し込んでください、と頼んだが、今改訂する予定はないから追加版で出しましょうという経緯から別刷になった。今回、5カ国版になる予定なのか、それともこのままばらばらで改訂するつもりなのか？コストと手間を考えると、現在あるものを改訂したほうが簡単だと思うが、今後毎年発行するとある。毎年発行となれば、この機会に1冊にまとめたほうが長い目でみると手間がかからないとも考えられるし、このタイミングで改訂しないと1冊になれないと思う。
事務局	過去の経緯を今初めて知ったため、予算は、現状と同じ別冊で改訂した場合で要求してしまっただ。委員のおっしゃる通りであり、在庫管理を考えれば2冊よりも1冊を管理するほうが手間が省ける。ただ、1冊にまとめた場合の金額がいくらかかるかがわからないので、予算の範囲内で、可能であれば1冊にまとめていきたい。4ヶ国語は見開きでちょうど4分割されているが、5カ国語にしたときに、一枚のページに収まるかという、レイアウトの問題もある。
委員	レイアウトは印刷業者に相談をかければ何とでもなると思う。もし、来年度が予算の関係で手おくれということであれば、時間をかけてレイアウトを練り、1年後に1冊にまとめるということでご検討いただきたい。
委員	長く継続している事業がたくさん見受けられる、情報誌RUNらんらんもそうだし、ぱりての事業もそう。効果について検証をしているか？数値的なものを把握し、どれだけ市民に知られているかを検証してほしい。事業にはお金もかかっているんで、もういらなくなかないという事業もあると思う。それよりも新たなものも取り込んで行ったほうがよい。
事務局	効果として数値的にどうか？という数値的なものは持っていない。男女共同参画の啓発は地道であるが途絶えてはいけないものと思っている。従って継続すべきものはしていきたいと考えている。数値的なもので効果を図るということは大事かと思うので、今後研究させていただきたい。資料には結果等を確実に入れていくよう進めていく。
委員	パパと〇〇で遊ぼう、は来年どんな計画でいるか？
事務局	国際友好協会が来年度、パパと英語で遊ぼうと同じ企画を年5回計画している、という情報をいただいている。よって、同じことをしてもしょうがないので、〇〇については英語以外にしようと考えている。
委員	男女共同参画はやるのが多岐にわたるので、連携するものはして、無駄を切捨て、いいものを取り入れることをどの課でもやったらいい。民間では当たり前であるが、実行してその効果を考えているが、それがやれていない。ずっと同じことをやっていけばいいという感じが見受けられる。また、ぱりての事業の中に「防災」のテーマが含まれているが女性の視点を入れていただければいい。私の地区でも、かなりやりましたので資料を提供します。
委員	防災は3.11以降女性視点でということがものすごく大事ということで、あざれあと連携し、防災の講座をワークショップ形式で開いた。
委員	次年度は新しい行動計画に入っていくので、今日の会議は非常に有意義だったと思う。参考にさせていただき、新しい計画がしっかりとPDCAサイクルでまわるように計画されるように期待したいと思う。